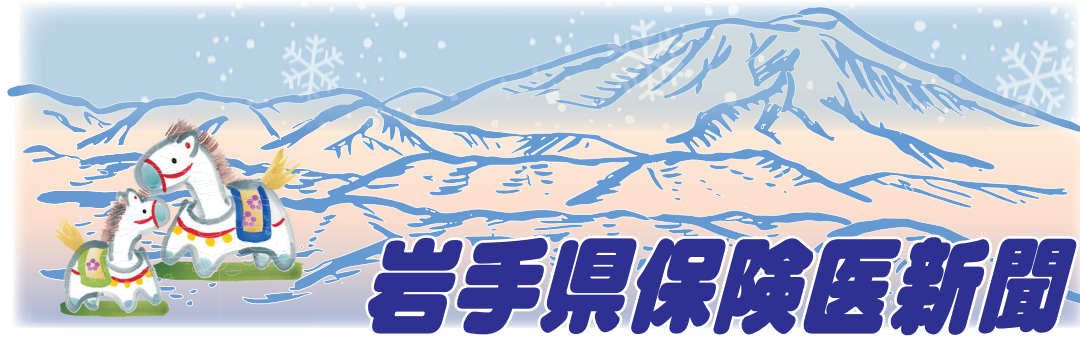


第592号

主な記事

- ・年頭所感 (1面)
- ・新年特集「岩手山の『過去』・『現在』・『未来』」 (2面・3面)
- ・マイナ保険証トラブル実態調査 (4面)
- ・岩手県消費者大会 (4面)
- ・個別指導の指摘事項について (4面)



岩手県保険医新聞

発行所

岩手県保険医協会
〒020-0034
盛岡市盛岡駅前通15-19
TEL 019-651-7341(代)
FAX 019-651-7374
発行人 小山田 榮二
https://www.i-hoken-i.org
購読料 年2,400円(〒別)
会員の購読料は会費に含まれています。



謹賀新年

残雪の岩手山と花輪線(八幡平市大更あたり)

国香 雅彦

フィルム時代に撮影した1枚です。雪が残る岩手山が、「逆さ岩手山」となって田植え直後のたんぼに映っています。そこを横切るように花輪線が通過していますが、国鉄時代の異なる3両のディーゼルカーが連結されマニアックな写真になりました。

年頭所感



岩手県保険医協会 会長 小山田 榮二

2026年を迎えるにあたり、所感の一端を述べることで新年のごあいさつに代えさせていただきます。

昨年は大谷翔平選手や佐々木朗希選手など、岩手出身選手がメジャーリーグで活躍し、大谷選手はMVPに加え、その年の優れた打者に贈られるハンク・アーロン賞も受賞しました。

さて、医療現場は病院の約7割が赤字、医療機関の倒産と休業の数も3年連続で過去最高を更新するなど厳しい状況で、物価高騰に診療報酬が追いつかないままです。診療報酬を物価や人件費の高騰に対応できる水準に引き上げることが求められます。

政府は高額療養費の限度額引き上げやOTC類似薬の保険外しなど、患者負担を大幅に増大させるような政策を提案しました。高額療養費の限度額引き上げは国民からの反対により一旦凍結されましたが、政府は2026年通常国会での関連法案提出を目指しており、動向を注視し、問題を訴えていく必要があります。

昨年当会が共同で提出した、「全世代の命にかかわる高額療養費制度の自己負担上限額引き上げを撤回すること」を求める請願が県議会で採択されました。

今後も地域医療を守るため国会、県議会への要請を行い、会員、県民の声を届けるとともに、会員の先生方にとって有益な情報を伝えることに努めます。

2026年も会員の皆さまの生活と権利を守り、県民の命・健康・医療を守ることを改めて胸に刻み、引き続き尽力して参ります。



お知らせ

12月27日(土)～1月4日(日)まで
協会事務所はお休みさせていただきます。

減のしじみ

近年、不登校やひきこもり状態の人数が増加し、岩手県も過去最多とのこと。

現在、当院で訪問診療を行っている20歳代の患者さん。幼少期から集団になじめず不登校・ひきこもり状態となりました。頭痛のため病院受診し悪性脳腫瘍と診断。人混みや医療者が怖い、通院・治療は希望しないと当院へ紹介となりました。頭痛・吐き気、幻聴幻覚等の症状はありますが、緩和治療で何とか過ごせています。「ちいかわ」のぬいぐるみを集め、アイドルが好きで、鬼滅の刃の映画は3回泣けた!などの話をする普通の若者です。

エンディングノートを書いたと見せてくれました。つらかった事のほか、楽しかった事、自分をひきこもりから救ってくれた事などが書いてありました。「先生、ずっと早く死にたいと考えて生きてきました。脳腫瘍と言われたとき、やっと死ぬると思えました。でも最近、もう少し生きていても良いかなって思えるようになったんです」と。

常に「何があっても救命処置は希望しません」と書いた手紙(本人・母のサイン、そして僕のサインと携帯番号を記載)を持ちながら外出しています。

様々なつらさを抱えながら生きていく人達がいいます。そのつらさを抱えながらも皆が穏やかに過ごせる世の中であることを願ってやみません。

(千葉)

過去」「現在」「未来」 活動と防災対策～

れ、岩手の文化の一部となっています。2024年
げられ、入山が規制されました。
「座長」座長の齋藤徳美先生に寄稿いただきました。

岩手山はどんな火山？

岩手山は標高2038m、直径約500mの大きな火口を抱く薬師岳を指して岩手山と呼称することもありますが、山頂は山体のごく一部で、黒真1。今から約70万年



齋藤 徳美 先生 (80歳)
(岩手大学名誉教授)

1973年東北大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士
岩手大学教授・理事・副学長、放送大学岩手学習センター所長を歴任

1998年岩手山噴火危機に際し「岩手方式」の火山防災体制の構築に尽力し、「岩手県の火山活動に関する検討会」座長を務める。東日本大震災からの復興計画の立案と進捗管理を担う。

防災功労で2016年防災担当大臣表彰、2017年総理大臣表彰、2024年岩手県勢功労者表彰、2024年岩手日報社文化賞受賞。

前から活動が始まったとされています。

薬師岳から東側は東岩手山、西側は西岩手山と区分され、東岩手山は約6700年前に山体崩壊(旧西根町が埋没)を起こした後に形成されたごく新しい山体です。東岩手山は浸食も進んでおらず、美しい稜線を保っていますが、西岩手山では多くの険しい沢が山肌を

江戸時代の噴火で花巻まで灰が

東岩手山では平安時代以降、マグマ噴火(マグマが上昇して噴出)を繰り返していますが、最近の噴火は1686年山頂からのマグマ噴火、1732年焼け走り溶岩の噴出、1919年大地獄谷の水蒸気噴火(温められた地下水が沸騰、爆発し土砂を吹き飛ばす)などが挙げられます。

1686年3月の山頂噴火では、火砕流(高温の岩片や火山ガスが高速で流下)の一種である火砕サージが発生して山腹を流れ下り、現滝沢市一本木地区には火のついた巨礫や樹木片が吹き付けられました。

過去の噴火実績に基づく防災マップ

1998年に公表された「岩手山火山防災マップ」は、大地獄谷で水蒸気噴火(過去最大の約3200年前)、山頂でマグマ噴火(1686年噴火)と同等の噴火が発生した時の被害が及ぶ範囲

を予測したものです(3面左上図1)。予測では、大地獄谷での水蒸気噴火による噴石、降灰は居住地に大きな影響を及ぼさないが、降灰後の大雨による土石流は広範囲に及ぶ。

削って荒々しい姿を見せており、それ故「南部片富士」と称されるのです。

薬師岳の西側には、東西約2km、南北約1.3kmの西岩手カルデラが広がり、その西端には、過去にも水蒸気噴火を繰り返し、現在も水蒸気噴火の可能性が指摘されている噴気活動の活発な火口である大地獄谷(3面左下写真2)があります。

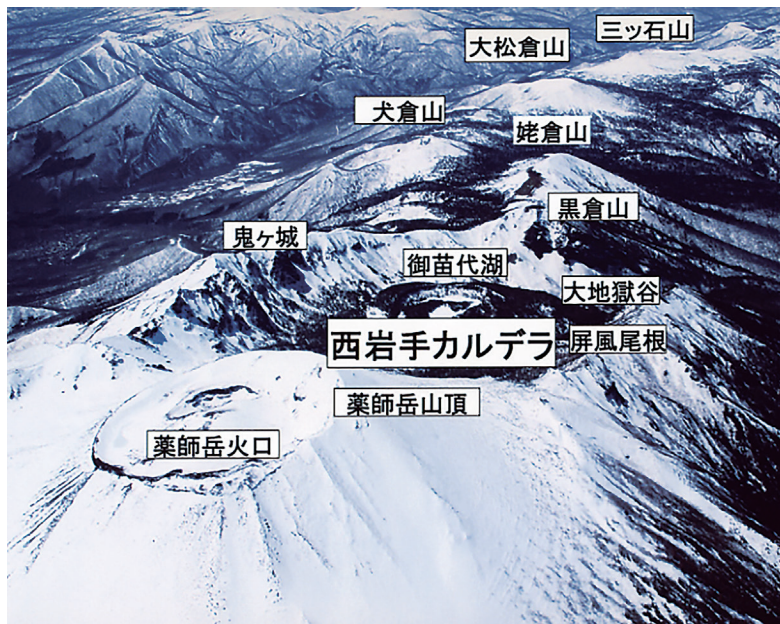


写真1 東側上空からの岩手火山群

山頂でのマグマ噴火による噴石や火砕流は居住地までは到達しないが、溶岩流や降灰後の土石流は居住地に及ぶ。

冬季に噴火により積雪が解けて発生する融雪型火山泥流は時速数十kmで松川、生田川、砂込川、諸葛川、黒沢川を流下

平成の噴火危機

1998年2月頃から地下から上昇するマグマが岩盤を割ることによつて生ずる火山性地震が頻発し、マグマや熱水の動きによって生ずるとされる火山性微動も繰り返される。山体が南北に10cm以上も膨張するなど地殻変動も観測され、噴気活動も活発化しました。

岩手県のシンボルともいえる岩手山ですが、活火山という認識も防災体制も皆無の中で慌ただしく火山防災の取り組みが模索されることになったのです。

大地獄谷での水蒸気噴火が危惧されたことから、1998年7月1日の山開きから全山での入

入山規制はどうやって決める？

気象庁は、それまでの地震・火山噴火には予報・警報は出さないとの方針を転換し、2007年から火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲」と「防災機関や住民が取るべき対応」を5段階に区分した「噴火警戒レベル」を発表することになりました。

レベル1…噴火予報、活火山であることに留意
レベル2…火口周辺警戒(火口)、火口周辺規制
レベル3…火口周辺警戒(火口から居住地近くまで)、入山規制
レベル4…噴火警報(居住地域及びそれより火口側)、避難準備
レベル5…噴火警報(居住地域及びそれより火口側)、避難

岩手の先進的な火山防災

山が規制され、多くの研究者は、何らかの噴火が発生するであろうと覚悟をしたのですが、幸いにして活動は低下に向かいました。2004年7月に全山での入山規制が解除され、いわゆる「岩手山平成の噴火危機」は平常状態に戻りました。

火山活動が低下した2004年以降も、平時における観測の重要性に鑑み、岩手県では「岩手県の火山活動に関する検討会」の開催、防災ヘリコプター「ひめかみ」による機上観測を年2回以上実施し、大地獄谷や黒倉山が規制され、多くの研究者は、何らかの噴火が発生するであろうと覚悟をしたのですが、幸いにして活動は低下に向かいました。2004年7月に全山での入山規制が解除され、いわゆる「岩手山平成の噴火危機」は平常状態に戻りました。

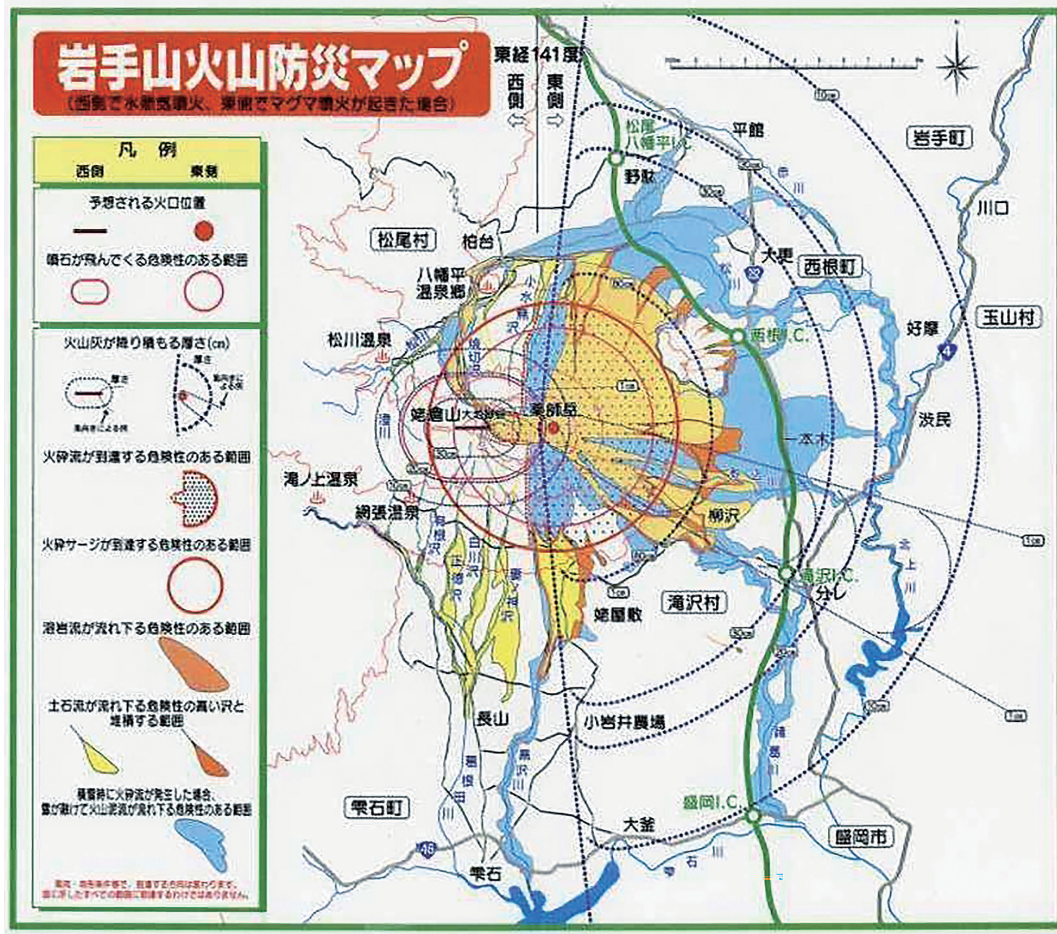


図1 岩手山火山防災マップ (概略版、1998年10月公表、市町村名は当時)



岩手県最高峰の岩手山は、多くの県民に愛され、10月、火山活動により噴火警戒レベルが引き上げられた。そこで今回は「岩手県の火山活動に関する検討

1998年岩手山噴火危機に際しては、産学官の連携組織である「岩手ネットワークシステム (INS)」に立ち上げられた「INS岩手山火山防災検討会」が関係者の顔の見える関係づくりに先導的役割を果たし、研究者・行政機関・報道機関・住民が連携して地域の安全を守る「減災の四角錐」(図2)という先進的な火山防災体制が構築されました。その活動は今も継続しています。

火山活動が再び活発化して以降、「岩手県の火山活動に関する検討会」は1〜2カ月に1度のペースで開催、「岩手山火山防災協議会」及びその幹事会は2カ月に1度開催され、火山活動の評価や規制緩和に向けた安全体制の構築等について検討が進められています。

再び動き始めた岩手山、今の状況は

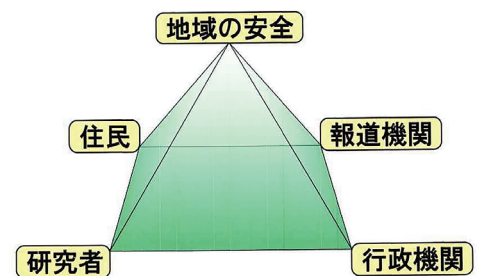


図2 減災の四角錐

2024年2月以降、岩手山では火山性地震が多発、火山性微動も少ないながら発生、また山体の傾斜や歪などの地殻変動が観測されるようになりました。山体の南北の基線長が伸長するようになり、マグマ、あるいは熱水・蒸気の地表近くへの流動が推測されました。特に大地獄谷周辺では、同9月頃からSAR干渉解析(人工衛星で電波を照射し地表と人工衛星との距離を測定)で地表が人工衛星に近づく、すなわち隆起していることが確認され、また、黒倉山に設置した地震計で微小地震が多発していることから、特に大地獄谷での水蒸気噴火が危惧され噴火警戒レベルが2に上げられることになりました。

可能性があるとして、この区域での立ち入りを規制していますが、当該エリアの直前で規制を行うことは実質的に困難であることを踏まえて、協議会は7つの全登山道入り口(網張は犬倉分岐)で入り口規制を行っています。なお、周辺の居住地へ被害が及ぶことはないと考えられており、住民の方々は通常の生活でかまいません。



写真2 噴気が立ち上る最近の大地獄谷 (2025年9月4日、岩手県の火山活動に関する検討会、土井宣夫氏撮影)

一方で、大地獄谷周辺での膨張は高止まりで、局所的な微小な地震は減少傾向にあるものの消長を繰り返しています。2014年9月27日の御嶽山の噴火、2018年草津白根山の噴火の事例があるように、事前に水蒸気噴火を予測することは困難で、大地獄谷で何が噴火のトリガーになるかはわかっていません。水蒸気噴火を事前に予測できなかった事例はないのです。当面、安全側に立ちレベル2は継続維持することになります。

一方、大地獄谷周辺での膨張は高止まりで、局所的な微小な地震は減少傾向にあるものの消長を繰り返しています。2014年9月27日の御嶽山の噴火、2018年草津白根山の噴火の事例があるように、事前に水蒸気噴火を予測することは困難で、大地獄谷で何が噴火のトリガーになるかはわかっていません。水蒸気噴火を事前に予測できなかった事例はないのです。当面、安全側に立ちレベル2は継続維持することになります。

岩手山は生きている火山

火山活動が反転して再び活発化したら、改めて大規模噴火への対応を迫られますが、今のところその兆しはありません。逆に地震や地殻変動がレベル上げの前の状態に戻った、あるいは戻る傾向が明瞭になった段階で気象庁はレベルを1に引き下げるようになります。しかし岩手山を含む多くの火山で、噴火の発生時の観測実績はほとんどなく、レベル上げ下げの判定基準が妥当かどうかの検証はなされていないなど、噴火警戒レベルの運用には課題もあります。

特に、岩手山ではレベル1でも状況に応じて火口内への立ち入り規制などが必要とされており、レベル1になったとしても無条件全面規制解除ではなく、しかるべく安全対策が協議会や入山者には求められます。レベル1は安全、緑信号ではないことを理解する必要があります。

入山者は生きている火山であるとの認識で、振動、臭気、地温、噴気、植生など異常に注意するようにして欲しいと願うものです。

8月以降も7割の医療機関がトラブルを経験

マイナ保険証実態調査

当会は10月28日から11月7日にかけて、FAX番号を登録している会員に対して5回目のマイナ

保険証実態調査を行いました(回答154件、回答率28%)。

8月以降にマイナ保険証に関するトラブルが「あった」と回答したのは71.4%でした(図1)。

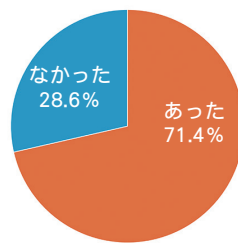


図1 今年8月以降のマイナ保険証トラブル

「あった」と回答したのは71.4%でした(図1)。内訳は「●表示」や「資格情報無効」が多く、「カードリーダーの接続不良」や「住所・氏名の

不一致」も挙げられ、これまでの調査と全く変わらなずトラブルは少くも改善されていません。トラブルには、健康保険証や資格確認書で対応した医療機関が大半でした(保険証71.4%、資格確認書64.9%)複数回答)。

12月2日に社保の健康保険証の有効期限が切れ、3月末までは期限切れ保険証でも受診できる暫定措置がとられました。

アンケートでは10月末から11月上旬時点で期限切れの健康保険証や資格確認書で受診した方がい

た医療機関は65.6%(101件)を占めています。健康保険証が期限切れとなってもマイナンバーカードが使われず、保険証がトラブル対応の主要な手段となっています。

その場しのぎの暫定措置ではなく、健康保険証を残せば全て解決できます。

医療現場の現状を伝え、考える分科会

午後には分科会が行われ、第2分科会では、盛岡医療生活協同組合の鈴木幸子専務理事が話題提供を行いました。



話題提供を行った鈴木幸子氏

午後には分科会が行われ、第2分科会では、盛岡医療生活協同組合の鈴木幸子専務理事が話題提供を行いました。

この法案は昨年2月に閣議決定され、医師が不足する地域での手当の増額のほか、外来の医師数が過剰な地域での開業を制限することも盛り込まれました。美容医療の問

題についても、医療機関に対し定期報告義務を設ける方針です。医療DXについては2030年までに電子カルテの普及率を100%にすることを目指すとし、運営母体として、社会保険診療報酬支払基金の目的や組織体制を見直すこと

12月5日に改正医療法が参院本会議で可決されました。

この法案には介護・障害福祉従事者の低賃金や負担の大きさを認め、処遇改善に努めることも盛り込まれました。

改正医療法は医療法や健康保険法など、主要なものだけでも24本の関連法を束ねたものです。支払基金の改組からオンライン診療の法制化、医師偏在対策まで幅広い内容が含まれるため、項目ごとに十分な議論がなされるべきではないでしょうか。

医師不足やオンライン受診 24本の法案が短期間で決定

改正医療法 可決

身近な問題に関心をもち、声を上げていくことが必要

岩手県消費者大会

10月29日、盛岡のアイーナで行われた岩手県消費者大会に事務局が参加しました。

の尊重は自己決定ができることだが、自己決定ができる人々は「強い個人」であるため、「弱い個人」を守るための「個人の尊厳」が必要だと述べました。

「平和のうちに生存する権利(平和的生存権)」は、「恐怖と欠乏からの解放」を指し、これには様々な形態のジェンダーに基づく暴力から生じる恐怖や差別、貧困が含まれるとしました。



講師の清末 愛砂氏

清末氏は、憲法9条と25条に関心が向けられがちだが、24条は家庭生活における個人の尊重と両性の平等を定めた重要な条項だと主張。13条の個人の尊重、14条1項の平等原則に加えて24条が必要な理由として、個人

論理と酷似していると説明。ヒトラーは権威主義のもとで育ったことを挙げ、力による支配の問題を子どもの頃から教え、差別や暴力に依拠せず、強権的な政府を生まない努力や強権的な政府に抵抗することができない人間を育てていかなければならないと話しました。

清末氏は、憲法9条と25条に関心が向けられがちだが、24条は家庭生活における個人の尊重と両性の平等を定めた重要な条項だと主張。13条の個人の尊重、14条1項の平等原則に加えて24条が必要な理由として、個人

清末氏は、軍事での安全保障論・侵略・占領を正当化する「対テロ」と「自衛」はDV加害者の

論理と酷似していると説明。ヒトラーは権威主義のもとで育ったことを挙げ、力による支配の問題を子どもの頃から教え、差別や暴力に依拠せず、強権的な政府を生まない努力や強権的な政府に抵抗することができない人間を育てていかなければならないと話しました。

指摘事項について

昨年開示請求した新規個別指導、個別指導の指摘事項(2024年)の一部をお知らせします。

医科 一基本診療料一

自主返還を求められた事項

<再診料> 診療情報提供文書の受け取りのみで来院し、診察を行っていないにもかかわらず再診料を算定している。

<外来管理加算> 患者からの聴取事項や診察所見の要点について診療録への記載がない、記載が不十分である。 医師のオーダーによらず、請求事務担当者の判断で算定している。 算定の有無について診療録への記載が不明確である。

自主返還を求められた事項

・再診料(外来管理加算、明細書発行体制等加算含む)について、外来栄養食事指導のみを受けに来院し、診察を受けていない場合に算定している。

歯科 一画像診断一

<診断料> 歯科パノラマ断層撮影を行った場合に、診療録に記載すべき写真診断にかかる必要な所見について、画一的に記載しているまたは、記載の不十分な例があったので、個々の症例に応じて適切に記載すること。

自主返還を求められた事項

・算定要件を満たしていない画像診断における診断料を算定している次の例があったので改めること。 歯科エックス線撮影、歯科パノラマ断層撮影を行った場合に、写真診断にかかる必要な所見を診療録に記載していない。